



学級活動



子供たちの思考をイメージすることで、
自治的・自律的な話し合い活動が実現できる！

－ 学級活動の授業構想シート －



目 次

第1節 本研究の概略

- ① 概要版 研究構想図 P 1
- ② 概要版 実践例 P 2
- ③ 資料の中で使われている語句の説明 P 3

第2節 二つのシートの活用【学級活動(1)】

- ① 学級活動(1)の二つのシートの使用方法 P 4
- ② 「議題・題材設定シート」(使用例) P 5
- ③ 「議題・題材設定シート」(シート) P 6
- ④ 「教師の働き掛けシート1」(使用例) P 7
- ⑤ 「教師の働き掛けシート1」(シート) P 8
- ⑥ 「教師の働き掛けシート2」(使用例) P 9
- ⑦ 「教師の働き掛けシート2」(シート) P10

第3節 二つのシートの活用【学級活動(2)】

- ① 学級活動(2)の二つのシートの使用方法 P12
- ② 「議題・題材設定シート」(使用例) P13
- ③ 「議題・題材設定シート」(シート) P14
- ④ 「教師の働き掛けシート1」(使用例) P15
- ⑤ 「教師の働き掛けシート1」(シート) P16
- ⑥ 「教師の働き掛けシート2」(使用例) P17
- ⑦ 「教師の働き掛けシート2」(シート) P18

【学級活動を進めるには？】

学級活動を行うには、児童の思考をイメージすることが大切です。児童が目指す理想的な姿や話し合い活動の中での教師の支援の具体的な想定にもつながります。児童の思考をイメージして、自治的・自律的な話し合い活動につなげてください。

児童の自治的・自律的な話し合い活動を 支えることができる教師

児童の課題意識を捉え、思考の流れに沿った授業を構想する

議題・題材設定シート

教師が集団の課題を把握し学級活動の議題や題材を設定するためのワークシート

議題・題材の設定

話し合いの
めあて

話し合う
こと

児童が
目指す理想
的な状態を
想定する

実践する
場面を
準備する

課題と
背景にある
要因を明確
にする

教師の働き掛けシート

児童の思考の流れをイメージし、課題解決に向けた働き掛けを想定することで、教師が支援するための2枚1セットのワークシート

シート1

児童の
思考の流れ
をイメージ
する

各場面の
目的に沿って
児童の思考を
イメージ化

シート2

話し合い活動
の充実に向
けた働き掛
けを想定する

イメージした
児童の思考を
踏まえて教師の
働き掛けを想定

教師の 困り感

・クラスや児童の課題を捉えきれず、適切な議題や題材が設定できないことがある。

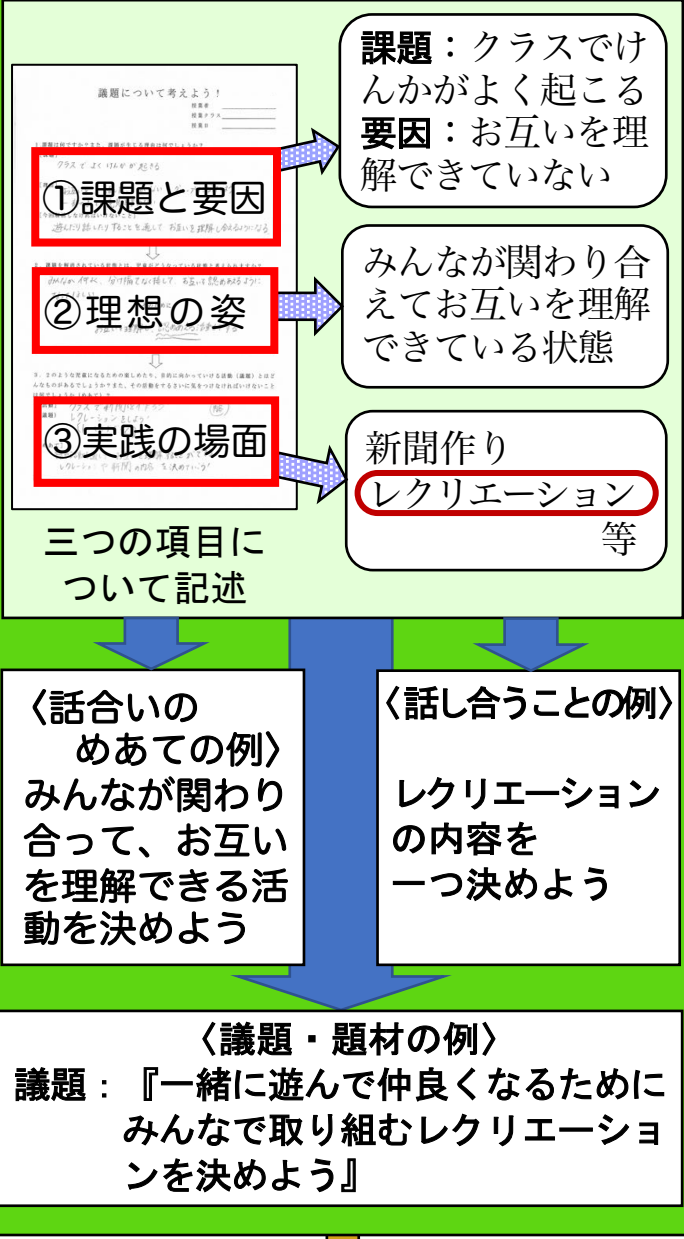
・児童の思考の流れを捉えることができず、効果的な働き掛けが分からない。

「議題・題材設定シート」「教師の働き掛けシート」作成の目的

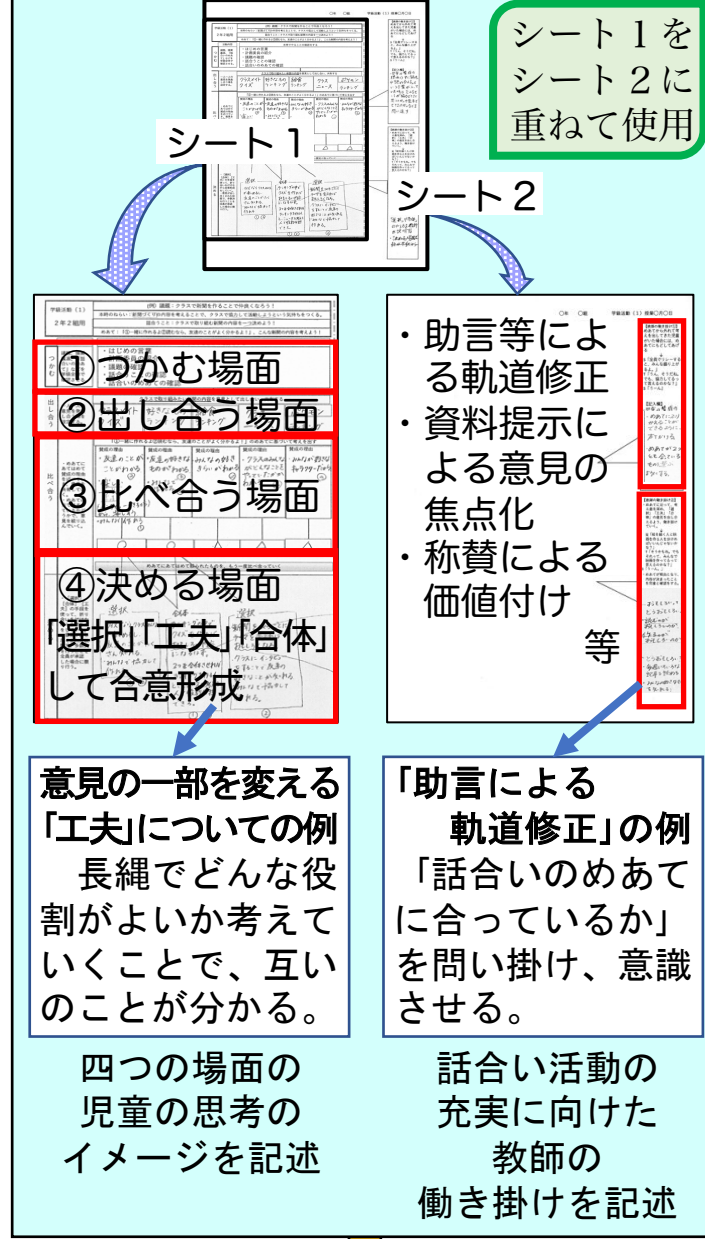
学級活動を行なう上での教師の実態を明確にするため、小学校に勤務する教員 300人を対象に、学級活動に関わる事前、本時、事後に関する10の質問項目で構成されたアンケート調査を行ないました。結果として、課題は以下の2点であることが明確になりました。

- 課題1 学級や児童の課題を捉え、議題や題材を設定していくこと
 - 課題2 話し合い活動の中で児童の思考の流れをイメージし、課題解決に向けた働き掛けを想定すること
- この二つの課題を解決するために、二つの資料を作成しました。

議題・題材設定シート



教師の働き掛けシート



議題を設定できた先生方の感想

- ・児童の実態を捉えることで課題の要因を見付けられた。
- ・児童の理想の姿を把握することで課題解決に向かう議題を設定できた。



児童への働き掛けを行っている様子



- 関わり合えるからこの意見がよい。
- 関わり合うって？
- 作戦を考えるところ!



資料の中で使われている語句の説明

・自治的・自律的な話し合い活動の姿について

自身や所属する集団の抱える課題を自分事として捉え、課題の解決に向け、根拠を明確にしながら話し合っている姿を自治的・自律的な話し合い活動の姿と捉えました。

・話し合いのめあて

「話し合いのめあて」には、内容や方法に関わるものがあります。本資料の中では、「話し合いの内容のめあて」を踏まえて「話し合いのめあて」を設定しました。「話し合いの内容のめあて」とは、例えば、「男女間のいがみ合いが多い」という課題から課題を解決するための「男女分け隔てなく触れ合える」（課題の解決につながる生活）、「互いのよさを理解できる」（課題が解決できた状態）という話し合う際の視点となります。

・話し合うこと

「話し合うこと」とは、学級活動の話し合い活動の中で決めなければいけない、内容の中心部分です。内容の中心とは、「けんかが多い」という課題の原因を解決するために何を行うか、つまり「実践」を考えることとなります。

・教師の働き掛け

「教師の働き掛け」とは、本時のねらいを達成するために、児童に行う助言や問い掛けなどの支援のことです。「話し合いのめあて」に沿って調整しながら、話し合い活動を課題解決に向けて進められるように、助言、問い掛け、資料の提示、称賛をしていくことが大切となります。

・議題

学級活動 (1)において、児童生徒が問題を発見し、学級の「共同の問題」として設定する課題です。解決方法について話し合うことで折り合いを付け、集団として「合意形成」を図ります。

・題材

学級活動 (2)(3) において、教師が個々の児童の「共通の問題」として設定する課題です。教師の指導に従って、解決方法等について話し合い、自己の課題に対する解決方法や努力目標を一人一人が「意思決定」します。

・合意形成

意見の違いや多様性を認め合いながら、折り合いを付け、集団としての考えをまとめたり決めたりすることです。

・意思決定

話し合いで見付けた解決方法を参考にし、自分に合った具体的な解決方法を決めること。

※参考文献『はばたく群馬の指導プランⅡ』（2019年 群馬県教育委員会）

学級活動 (1)の「議題・題材設定シート」 「教師の働き掛けシート」の使用方法

【学級活動 (1)とは？】

学級活動 (1)は、学級や学校の生活の中から、学級をよりよくするための課題を見付け、その課題の解決策を学級で話し合い考え出した後に、協働して実践する活動です。

この話し合い活動の中で大切なのは、お互いの意見を交換する中で折り合いを付け、合意形成していくことです。話し合い活動の過程で、意見の違いや多様性に触れて考えを広げたり、他者と意見を出し合い、交流する中で考えを深めたりします。併せて、少数の意見を大切にすることのよさを学習していくことが大切となります。

作成する場面

①議題集め

②話し合いの準備

(1)計画委員の役割を決めます

ここで作成

(2)「活動計画表」と「話し合い進行表」を使いながら、話し合う内容を決めます

ここで作成

(3)計画委員は、「議題」や「話し合いのめあて」を提案します

(4)計画委員は、話し合う前に意見をまとめて、短冊などに書いておきます

③話し合い活動

「議題・題材設定シート」の作成
※教師と児童が一緒に作成する

「教師の働き掛けシート」の作成
※教師が作成する

「議題・題材設定シート」

児童の課題や児童の所属する集団の課題を把握し、学級活動の議題や題材を設定するために三つの質問項目について記述していくシートです。

話し合い活動を行うためには「話し合うこと」「話し合いのめあて」を見いだしていくことが大切になります。そのために、「課題と背景にある要因を明確にする」「児童が目指す理想的な状態を想定する」「実践する場面を準備する」の三つの質問項目に答えることで、「話し合うこと」「話し合いのめあて」「議題・題材」の3点を明確にしていきます。

【具体的な使い方】

- 「議題・題材」「話し合いのめあて」「話し合うこと」を明確にするために、三つの質問項目「課題と背景にある要因」「児童が目指す理想的な状態」「実践する場面を準備する」について考え、シートに記述していきます。
- 全学年で使うことを想定しています。また、中学年以上は教師と児童が一緒に作成することを想定しています。

使用例

【議題・題材設定シート】

授業クラス 年 組
授業日 月 日

1 課題と背景にある要因は何だと思いますか。

課題	背景にある要因
クラスでけんかが多い	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなと触れ合う機会が少ないこと ・互いの気持ちを理解しようとしていないこと

2 課題を解決し、児童が目指す理想的な状態とはどのような状態ですか。

- ・みんなと関わり合えること
- ・互いの気持ちを理解し合えること

3 実践する場面はどのような場面を準備しますか？

- ・新聞作りの場面を準備し、ふさわしい新聞の内容を話し合う
- ・レクリエーションの場面を準備し、ふさわしい遊びの内容を話し合う

話し合いのめあて：
・互いを理解するために、みんなが関わり合える活動を決めよう

話し合うこと：
・新聞作りの内容を一つ決めよう

議題・題材：読むことで仲良くなれる、みんなで取り組む新聞作りをしよう

質問項目① 課題と背景にある要因

- ・学級に表れている課題を記述する。
- ・課題の背景にある要因を探り、解決すべき課題を適切に捉える。
- ・課題の背景にある要因は、課題が生じた原因である日頃の「生活」と「状態」を捉える必要がある。

【記述例】

課題：何かする時に主体的に動けない
背景にある要因：挑戦する機会が少ない(生活)
自分たちで考え、主体的に活動する楽しさを知らない(状態)

質問項目② 児童や学級が目指す理想的な状態

- ・課題を解決できた児童の理想の姿を想像することで、目指すゴールを明確にする。
- ・論点からそれずに話し合い活動を進めていける。

※【児童の理想の姿】とは

- ・「課題に背景にある要因の裏返し」の状態

質問項目③ 実践する場面を準備する

- ・「話し合いのめあて」を実践できる活動内容を考え、シートに記述する。
- ・本時で、話し合う取組内容を決める。

「話し合うこと」「話し合いのめあて」「議題」の設定

- 質問項目①～③を考えたことを踏まえて、「話し合うこと」「話し合いのめあて」「議題」を見だし、設定する。
- ・質問項目②が「話し合いのめあて」につながる。
- ・質問項目③が「話し合うこと」につながる。
- ・「話し合いのめあて」「話し合うこと」を踏まえて、議題を設定する。

授業クラス _____ 年 組

授業日 _____ 月 _____ 日

1 課題と背景にある要因は何だと思えますか。

課題

背景にある要因

2 課題を解決し、児童が目指す理想的な状態とはどのような状態ですか。

3 実践する場面はどのような場面を準備しますか？

話し合いのめあて：

話し合うこと：

議題・題材：

「教師の働き掛けシート1」

○ 「教師の働き掛けシート1」とは？

「教師の働き掛けシート」は、児童の思考をイメージして授業の流れを把握する「教師の働き掛けシート1」と、授業のどの場面で、どのような内容を働き掛けたらよいかを想定していく「教師の働き掛けシート2」の2枚1セットでできています。「教師の働き掛けシート1」はそのうちの1枚で、A4判のシートです。

【具体的な使い方】

- 「つかむ」「出し合う」「比べ合う」「決める」の四つの場面の児童の思考をイメージし、児童がもつであろう「意見」や「考え方」を教師が想定して記述していきます。
- 大切なのは、おおまかな児童の思考の流れを記述していくことなので、シートの記述が埋まらなくても構いません。また、授業が想定した通りに展開しなくても構いません。大切なのは、児童の思考の流れをイメージし、授業をする上での心の準備をすることです。

使用例

【教師の働き掛けシート1】

学年活動(1)	議題	読むことで仲良くなれる、みんなで取り組む新聞作りをしよう
年 組	話し合うこと	新聞作りの内容を一つ決めよう
	話し合いのめあて	①みんなが関わり合って、②お互いを理解できる活動を決めよう
		※「話し合いのめあて」は、「比べ合う」場面で照らし合わせるため、①②と項目化した。

つかむ	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめの言葉 ・計画委員の紹介 ・議題の確認 ・話し合うことの確認 ・話し合いのめあての確認
-----	---

出し合う	クラス メイト クイズ	好きな ものラン キング	給食 ランキング	クラス ニュース	サッカー選手 ランキング
	話し合いのめあてに照らし合わせて話し合う。話し合いのめあてに当てはまる意見を出し合う。	話し合いのめあてに照らし合わせて話し合う。話し合いのめあてに当てはまる意見を出し合う。	話し合いのめあてに照らし合わせて話し合う。話し合いのめあてに当てはまる意見を出し合う。	話し合いのめあてに照らし合わせて話し合う。話し合いのめあてに当てはまる意見を出し合う。	話し合いのめあてに照らし合わせて話し合う。話し合いのめあてに当てはまる意見を出し合う。
	①みんなで一緒に考えられる	②読むことで互いを理解できる	②読むことで互いの好きな給食が分かる	①みんなで一緒に考えられる	②読むことでクラスメイトのことが分かる

比べ合う	○	△	△	○	△
------	---	---	---	---	---

「選択」
クイズならみんなで考えられるし、友達のことがたくさん知れる。

「合体」
ニュースをクイズにすれば、役割分担もたくさんできるし、両方をできるから、多くの人を楽しめる。

「工夫」
ニュースの内容の種類をたくさんにすれば、いろんな内容を知ることができるし、考えるときに多くの人に参加できる。

※「選択」「合体」「工夫」は、考え方なので、挙げられると想定するもの全てを挙げる必要はなく、想定されそうな典型的な例を、一つずつ挙げればよい。

① 「つかむ」場面

- 学級活動で話し合う内容について確認していく。
 - ・「議題」「話し合うこと」「話し合いのめあて」等の確認

② 「出し合う」場面

- 「話し合うこと」について考えた意見を出し合い、話し合う。
 - ・児童が「話し合いのめあて」に当てはまると考える意見
 - ・児童が意欲をもって取り組める活動

③ 「比べ合う」場面

- 「話し合いのめあて」に照らして、賛成の理由を出して話し合う。そして、児童から出された賛成の意見を基に、「話し合いのめあて」に照らして意見を絞る。
 - ・「話し合いのめあて」に当てはまる意見には、「○」、当てはまらないものに「△」の記号を付けて視覚化する。

④ 「決める」場面

- 「比べ合う」場面で絞った意見をよりよい意見に近付けていくための三つの方法を考え、取組内容を合意形成していく。
 - ・「選択」…「話し合いのめあて」に照らして意見を選ぶ方法
 - ・「合体」…複数の意見を合体させ、多くの人賛成できる意見にする方法
 - ・「工夫」…意見の一部を変えたり付け加えたりする方法

学級活動(1)	議題 :
	話し合うこと :
	話し合いのめあて:

つかむ	話し合いを方向付けるために話し合いの内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめの言葉 ・計画委員の紹介 ・議題の確認 ・話し合うことの確認 ・話し合いのめあての確認
-----	----------------------------	---

出し合う	「話し合うこと」について考えた意見を出し合う。					
		賛成の理由	賛成の理由	賛成の理由	賛成の理由	賛成の理由
比べ合う	「話し合いのめあて」に照らして、賛成の理由を出し合う。そして、「話し合いのめあて」に照らして、意見を絞っていく。					

決める	「比べ合う」場面で絞った意見をよりよい意見にするために、「選択」「合体」「工夫」の手段を使って考えを出し合い、合意形成していく。	

○ 「教師の働き掛けシート2」とは？

「教師の働き掛けシート」は、児童の思考をイメージして授業の流れを把握する「教師の働き掛けシート1」と、授業のどの場面で、どのような内容を働き掛けたらよいかを想定していく「教師の働き掛けシート2」の2枚1セットでできています。「教師の働き掛けシート2」はそのうちの1枚でA3判のシートです。

【具体的な使い方】

- A4判の「教師の働き掛けシート1」を、A3判の「教師の働き掛けシート2」の上に置いて記述していく。その際、シート1でイメージした児童の思考のイメージを踏まえた上で、児童に対して行くと想定される教師の働き掛けを、シートに記述していきます。
- 働き掛けを考える場面は、「比べ合う」「決める」の二つの場面
- 働き掛けの視点は、「話し合いのめあて」「話し合うこと」について
- 働き掛けの内容は、
 - ・「助言」や「問い掛け」による軌道修正
 - ・「資料提示」や「助言」による話し合う内容の焦点化や話し合いの活性化
 - ・「称賛」による価値付け 等

使用例

A3判 「教師の働き掛けシート2」

授業日 月 日

働き掛ける場面

【比べ合う場面】

【決める場面】

A4判、「教師の働き掛けシート1」を置くスペース

「話し合いのめあて」「話し合うこと」の働き掛けの例

- 「助言」や「問い掛け」による軌道修正
 - ・「本当に、その意見は話し合いのめあてである関わり合える活動になるのかな。少し考えてみよう。」
 - ・「サッカー選手ランキングは、自分たちがやってみたくらいから出た意見なのではないのかな。話し合いのめあてであるみんなが理解できる状態につながるかな。」
 - ・「話し合うことは、一つの取組を決めることだったね。一つに絞っていいこう。」
- 「資料提示」や「助言」による話し合う内容の焦点化や話し合いの活性化
 - ・（写真を見せながら）「これは、一人で新聞を作っている場面だね。この新聞の内容だと、このような場面ができてしまわないかな。それだと、話し合いのめあてであるみんなが関わり合えることになるかな。」
 - ・「関わり合うってどういうこと、みんなに話し合いのめあてに照らし説明してみよう。」
- 「称賛」による価値付け
 - ・「なるほど、意見を出し合い、内容を相談していくことが話し合いのめあてである関わり合うことにつながるのだね。」
 - ・「そうか。クラスメイトランキングを見れば、みんながどんなことに興味をもっているか分かるから、話し合いのめあてであるお互いのことを知ることにつながりそうだね。」

【教師の働き掛けシート2】

【比べ合う場面】

A4判、「教師の働き掛けシート1」
を置くスペース

【決める場面】

学級活動 (2) の「議題・題材設定シート」 「教師の働き掛けシート」の使用法

【学級活動 (2) とは？】

学級活動 (2) は、自己の生活を振り返ることで自身の課題に気づき、自身の課題を解決する方法を意思決定する活動です。

自身の課題に気づく上で大切なことは、課題について自らの生活を振り返り、見いだした自身の課題を改善するための最善な方法を探していくことです。

そのためにも自身が理想とする姿を明確にもち、理想とする姿になるために自身が取り組むことについて決めていかなければいけません。

学級活動 (2) の話し合い活動では、一人一人が意見を出し合い、他者の考えを取り入れることで、自身の課題の解決に向けて、考えを広げたり深めながら、意思決定していくことが大切となります。

作成する場面

① アンケート調査

② 話し合いの準備

(1) 計画委員の役割を決めます

ここで作成

(2) 「活動計画表」と「話し合い進行表」を使いながら、話し合い内容を決めます

ここで作成

(3) 計画委員は、「題材」や「話し合いのめあて」を提案します

(4) 計画委員は、アンケートなどの結果を集計し、短冊などに書いておきます

※学級活動 (2) に関しても、教師が授業を進めるのではなく、発達の段階に応じて、計画委員の活動を取り入れることが考えられます。

「議題・題材設定シート」の作成
※教師と児童が一緒に作成する

「教師の働き掛けシート」の作成
※教師が作成する

③ 話し合い活動

「議題・題材設定シート」

児童の課題や児童の所属する集団の課題を把握し、学級活動の議題や題材を設定するために三つの質問項目に記述していくシートです。

話し合い活動を行うためには「話し合うこと」「話し合いのめあて」を見いだしていくことが大切になります。そのために、「課題と背景にある要因を明確にする」「児童が目指す理想的な状態を想定する」「実践する場面を準備する」の三つの質問項目に答えることで、「話し合うこと」「話し合いのめあて」「議題・題材」の3点を明確にしていきます。

【具体的な使い方】

- 「議題・題材」「話し合いのめあて」「話し合うこと」を明確に見いだしていくための、三つの質問項目である「課題と背景にある要因」「児童が目指す理想的な状態」「実践する場面」を考え、シートに記述していきます。
- 全学年で使うことを想定しています。また、中学年以上は教師と児童と一緒に作成することを想定しています。

使用例

【議題・題材設定シート】

授業クラス 年 組

授業日 月 日

1 課題と背景にある要因は何だと思いますか。

課題

インターネットやテレビの時間が長い

背景にある要因

- ・挑戦する気持ちがない
- ・いろいろな活動のよさを知らない

2 課題を解決し、児童が目指す理想的な状態とはどのような状態ですか。

- ・挑戦する気持ちをもつことができる
- ・いろいろな活動のよさを知ることができる

3 実践する場面はどのような場面を準備しますか？

- ・帰宅後、取組場面を準備し、取り組む内容を話し合う

話し合いのめあて:

- ・挑戦する気持ちをもてるように、いろいろな活動のよさを知ることができる取組を決めよう

話し合うこと:

- ・帰宅後に取り組む活動の内容を決めよう

議題・題材: いろいろな活動のよさを知ること、新しい活動に挑戦しよう

質問項目① 課題と背景にある要因

- ・個々の児童が共通に解決すべき課題を記述する。
- ・課題の背景にある要因を探り、解決すべき課題を適切に捉える。
- ・課題の背景にある要因は、課題が生じた原因である日頃の「生活」と「状態」を捉える必要がある。

【記述例】

課題 : 給食を残す児童が多い
背景にある要因: 給食の食べ方や時間の適切な過ごし方が分からない(生活)
摂取する栄養に偏りがある(状態)

質問項目② 児童やクラスが目指す理想的な状態

- ・課題を解決できた児童の理想の姿を想像することで、目指すゴールを明確にする。
- ・論点からそれぞれに話し合い活動を進めていける。

【児童の理想の姿】とは

- ・「課題に背景にある要因の裏返し」の状態

質問項目③ 実践で取組活動の内容

- ・「話し合いのめあて」を実践できる活動内容を考え、シートに記述する。
- ・本時で、話し合う取組内容を決める。

「話し合うこと」「話し合いのめあて」「題材」の設定

- 質問項目①～③を考えたことを踏まえて、「話し合うこと」「話し合いのめあて」「題材」を見だし、設定する。
- ・質問項目②が「話し合いのめあて」につながる。
- ・質問項目③が「話し合うこと」につながる。
- ・「話し合いのめあて」「話し合うこと」を踏まえて、題材を設定する。

【議題・題材設定シート】

授業クラス ____ 年 ____ 組

授業日 ____ 月 ____ 日

1 課題と背景にある要因は何だと思えますか。

課題

背景にある要因

2 課題を解決し、児童が目指す理想的な状態とはどのような状態ですか。

3 実践する場面はどのような場面を準備しますか？

話し合いのめあて：

話し合うこと：

議題・題材：

「教師の働き掛けシート1」

○ 「教師の働き掛けシート1」とは？

「教師の働き掛けシート」は、児童の思考をイメージして授業の流れを把握する「教師の働き掛けシート1」と、授業のどの場面でどのような内容を働き掛けたいかを想定していく「教師の働き掛けシート2」の2枚1セットでできています。「教師の働き掛けシート1」は、そのうちの一枚でA4判のシートです。

【具体的な使い方】

- 「つかむ」「さぐる」「見付ける」「決める」の四つの場面の児童の思考をイメージし、児童が出すであろう「意見」や「考え方」を教師が想定して記述していきます。
- 大切なのは、おおまかな児童の思考の流れを記述していくことで、想定するすべての意見を記述しなくても構いません。また、授業が想定した通りに流れなくてもよいです。あくまで大切なのは、児童の思考の流れをイメージし、授業をする上での心の準備をすることです。

使用例

【教師の働き掛けシート1】

学年活動 (2)	題材	挑戦する気持ちをもって、いろいろな活動のよさを知ることができる取組を決めよう
単元	話し合うこと	帰宅後に取り組む活動の内容を決めよう
	話し合いのめあて	いろいろな活動のよさを知ること、新しく挑戦する取組を決めよう

つかむ	<ul style="list-style-type: none"> はじめの言葉 題材の確認 話し合うことの確認 話し合いのめあての確認 アンケート結果の提示 など
-----	--

さぐる	読書	自主学習	お手伝い	外で遊ぶ	インターネット
	読書の理由 ・読書は、知識が増える ・集中力がつく	読書の理由 ・勉強ができるようになる ・苦手なところを学習できる	読書の理由 ・家の人に喜んでもらえる	読書の理由 ・体が健康になる ・みんなと遊べば仲良くなれる	読書の理由 ・いろいろなことが知れる ・調べ方が分かる

	集中力	学力	思いやり	体力	調べる力
--	-----	----	------	----	------

決める	「見付ける」場面では、児童が実践したいものを選び、具体的に記述していくことで、意思決定していく。 理由：本を読めば、集中力が付く 方法：読みたい本を、毎日夕飯の後に30分読む	「見付ける」場面では、児童が実践したいものを選び、具体的に記述していくことで、意思決定していく。 理由：お母さんが大変そうだから、手伝いたい 方法：夕飯の後、食器を片付けて、お母さんと一緒に、食器を洗う	「見付ける」場面では、児童が実践したいものを選び、具体的に記述していくことで、意思決定していく。 理由：インターネットを有効利用できていないから、使いたい 方法：自分が知らない絵の書き方や、歴史の人物などの情報を宿題が終わったら調べる
-----	---	---	---

① 「つかむ」場面

- 学級活動で話し合う内容について確認をしていく。
 - ・「アンケート結果」「議題」「話し合うこと」「話し合いのめあて」等

② 「さぐる」場面

- 「話し合うこと」について考えた意見を出し合い、話し合う。
 - ・児童が「話し合いのめあて」に当てはまると考える意見
 - ・児童が意欲をもって取り組める活動

③ 「見付ける」場面

- 「話し合いのめあて」に照らして、賛成の理由を出して話し合う。その際に、必ず児童が成長できる意見を出していくようにする。
 - そして、それぞれの取組を実践することで、どのようなよさがあるかを考え、分類していく。

④ 「決める」場面

- 「見付ける」場面で賛成の理由を述べた意見の中から自分が実践したいものを選び、具体的に記述していくことで、意思決定していく。
 - ・挑戦したいことを書く際に、取り組む理由と方法を書くようにする。
 - ・アンケート結果から導き出された課題であっても、人によっては「話し合いのめあて」に当てはまる取組になることもある。

学級活動 (2)	題材 :
	話し合うこと :
	話し合いのめあて:

つかむ	<p>話し合いを方向付けるために話し合いの内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ はじめの言葉 ・ 題材の確認 ・ 話し合うことの確認 ・ 話し合いのめあての確認 ・ アンケート結果の提示 など
-----	--

さぐる	「話し合うこと」について考えた意見を出し合う。					
	見付ける	「話し合いのめあて」に照らし、賛成の意見を述べる。そして、賛成の理由を分類していく。	賛成の理由	賛成の理由	賛成の理由	賛成の理由

決める	「見付ける」場面で分類した内容を、自分が行う活動として具体的に考え、意思決定する。	
-----	---	--

○ 教師の働き掛けシート2とは？

「教師の働き掛けシート」は、児童の思考をイメージして授業の流れを把握する「教師の働き掛けシート1」と、授業のどの場面でどのような内容を働き掛けたいかを想定していく「教師の働き掛けシート2」の2枚1セットでできています。「教師の働き掛けシート2」は、そのうちの1枚でA3判のシートです。

【具体的な使い方】

- A4判の「教師の働き掛けシート1」を、A3判の「教師の働き掛けシート2」の上に置いて使用します。その際、シート1でイメージした児童の思考のイメージを踏まえた上で、教師が行うと想定される教師の働き掛けを、シートに記述していきます。
- 働き掛けを考える場面は、「見付ける」「決める」の二つの場面
- 働き掛けの視点は、「話し合いのめあて」「話し合うこと」について
- 働き掛けの内容は
 - ・「助言」や「問い掛け」による軌道修正
 - ・「資料提示」や「助言」による話し合う内容の焦点化や話し合いの活性化
 - ・「称賛」による価値付け 等

使用例

A3判 「教師の働き掛けシート2」

期日 月 日
働き掛ける場面

【見付ける場面】

【決める場面】

A4判、「教師の働き掛けシート1」を置くスペース

「話し合いのめあて」「話し合うこと」の働き掛けの例

- 助言や問い掛けによる軌道修正
 - ・「本当に、その意見は話し合いのめあてである、いろいろなことを知るとい意見に合っているのかな？」
 - ・「お手伝いをするとお小遣いがもらえるという理由は、新しいことにチャレンジするという話し合いのめあてに合っているのかな？」
 - ・「家に帰る前に、取り組むのでは話し合うことである、帰宅後に取り組む活動になるのかな。」
- 資料提示や助言による話し合う内容の焦点化や話し合いの活性化
 - ・（写真を見せながら）「これは、ゲームをしている写真だね。これは、今回の話し合いのめあてに合っていること？」「そうだね。普段あまりやらない人が気分転換にするのだとしたら新しいことに挑戦していることになるね。」
でも、普段たくさんしている人にとっては新しいことに挑戦できていると言えるかな。」
 - ・「インターネットを見ることは、話し合いのめあてである活動のよさでいうとどんなことがあるのかな。みんなに説明してみよう。」
- 称賛による価値付け
 - ・「なるほどー、普段外で遊んでいないから、外遊びに挑戦するんだね。話し合いのめあてに合ってるね。」
 - ・「アンケートで使用時間が多かったインターネットをあまり見てないのだね。他の人が見えても自分が見ていないなら、話し合いのめあてである新しいことに挑戦していることになるね。」

【教師の働き掛けシート2】

【見付ける場面】

A4判、「教師の働き掛けシート1」
を置くスペース

【決める場面】

※1 「計画委員について」「話し合い活動の事前の準備の仕方」「本時の話し合い活動の進め方」等については、過去の長期研修員の研究を参考にさせていただきました。

- ・ 群馬県総合教育センター長期研修員報告書 平成24年度長期研修員 関 喜史 先生
- ・ 群馬県総合教育センター長期研修員報告書 平成30年度長期研修員 岸 顕司 先生

※2 P6、8、10、12、14、16、18のシートについては、群馬県総合教育センターで配布しているCD-ROMに「ワード版」を添付していますので、ご活用ください。

資料作成者：令和元年群馬県総合教育センター長期研修員 木暮 直隆